

# 1. 基本方針

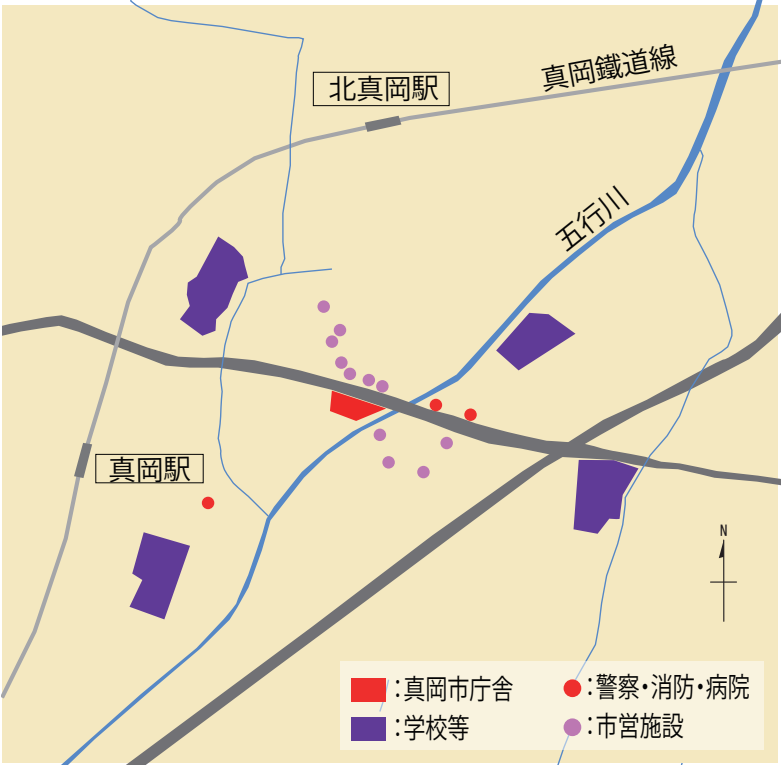
## ■はじめに

平成 27 年 3 月に策定した真岡市新庁舎建設基本計画を基に、市民から広く意見を求めるため真岡市新庁舎建設市民会議を開催し、新庁舎建設基本設計を進めてまいりました。

この度、真岡市新庁舎建設基本設計がまとまりましたので、市民の皆様に新庁舎建設の基本的な考え方と概要について、ご説明いたします。

## ■これまでの経緯

- 平成 23 年 9 月～ 真岡市新庁舎建設基本構想の検討開始
- 平成 26 年 1 月 真岡市新庁舎建設基本構想の策定
- 平成 26 年 6 月～ 真岡市庁舎建設基本計画検討市民会議の開催（全 5 回）
- 平成 27 年 3 月 真岡市新庁舎建設基本計画の策定
- 平成 27 年 12 月～ 真岡市新庁舎建設基本設計に着手
- 平成 28 年 5 月～ 真岡市新庁舎建設市民会議の開催（全 5 回）



## ■新庁舎建設の基本方針

基本構想から基本計画まで一貫した理念として、災害時における行政機能維持や防災拠点だけでなく、利便性、機能性、安全性などの面からも市民のための新庁舎実現に向け、以下の 5 つの基本方針を定めています。

### 1. 市民サービスの向上

新庁舎は、来庁者が一目で分かりやすい部門配置とし、プライバシーに配慮された相談スペースを設置するなど、市民サービスの向上を目指します。また、駐車場については、必要台数が確保された余裕あるスペースとし、災害時の避難場所やイベントスペースとしての利用を目指します。

### 2. 安全・安心の拠点

新庁舎は、耐震性と安全性を兼ね備え、災害発生後も庁舎機能を維持するための設備を備えた、防災・災害復興の拠点として市民の安全・安心の確保を目指します。

### 3. すべての人にやさしい庁舎

新庁舎は、利用の頻度や年齢などにかかわらず、すべてのスペースをすべての人が利用しやすい、やさしく機能的な環境整備を目指します。

### 4. 環境への配慮

新庁舎は、自然エネルギーの最大限の活用・導入や省資源・省エネルギーに配慮するとともに、近隣の住環境など周辺環境に配慮して、景観との調和を目指します。

### 5. 機能的な庁舎

新庁舎は、有効な財源の確保や建設費用の抑制に努め、維持管理や設備改修などの将来的負担の軽減を図りながら、運営・維持管理がしやすい、市民ニーズや時代の変化に柔軟に対応できる庁舎の建設を目指します。

なお、この基本方針に加え、まちににぎわいを創出し、活力をもたらす新庁舎を核とした庁舎周辺の整備を目指します。



真岡市新庁舎 基本設計【概要版】